

平成28年4月8日

喜多方市スポーツ少年団単位団代表者 各位

喜多方市スポーツ少年団本部
本部長 瓜 生 敏 男
(公印省略)

平成28年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール
の参加者募集について (通知)

日頃より当本部活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、標記の件について、福島県スポーツ少年団本部から別紙写しのとおり通知がありましたので、お知らせいたします。

つきましては、貴単位団関係者にご周知のうえ、参加希望者がおりましたら、下記により申込みくださいますよう、お取り計らい願います。

なお、下記文書については、(公財)喜多方市体育協会HPにも掲載しますことを申し添えます。

記

1. 申込み締切 平成28年5月16日(月) 必着
2. 申込み方法 別紙「様式2・3」に必要事項をご記入の上、PDF(カラー)・郵便などで下記3へ送付願います。(FAX不可)
なお、様式2には顔写真が必要ですのでご注意願います。
3. 申込み先 市スポ少年団本部事務局で取りまとめて、(公財)福島県体育会協会スポーツ少年団係へ申込みますので、市スポ少本部事務局に申込書を送付願います。

【喜多方市スポーツ少年団本部事務局 ((公財) 喜多方市体育協会事務局内)】

住所：〒966-0094 喜多方市字押切1-86 (押切川公園体育館内)

電話：0241-23-0771 FAX：0241-23-0780

E-mail：info@kitakata-taikyo.jp HP：喜多方市体育協会で検索

平成 28 年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール 応募課題作成要項

シニア・リーダースクールでは、現在のスポーツ少年団活動について問題意識を持って参加して欲しいことから、申込者には応募課題としてレポート提出を課しています。

応募課題では、あなたのスポーツ少年団活動の現状分析、問題点の明確化、シニア・リーダースクールの参加目的等を確認することで、宿泊研修へ向けた準備をしていただきます。

下記の内容により、応募課題に取組み、参加申込書と共に提出してください。

なお、応募課題を提出しなかった場合、申込みが受け付けられませんので、ご注意ください。

応募課題① 【レポート】	今まであなたがスポーツ少年団のリーダーとして活動してきた具体的な内容について、詳しく説明しなさい。また、そのリーダー活動を続ける上で抱えている問題について述べなさい。
応募課題② 【レポート】	シニア・リーダースクールへの参加志望動機について述べなさい。また、宿泊研修（スクーリング）に参加してどのような知識や技術を身に付けたいか、それを単位団やリーダー会活動において、どのような形で活かしていくのかを述べなさい。

※シニア・リーダースクールの概要については、本会ホームページを参照すること。

日本体育協会ホームページ（<http://www.japan-sports.or.jp/>）→スポーツ少年団→リーダー養成事業→シニア・リーダースクール

<提出方法・期限>

- ・提出方法および期限については、所属する都道府県スポーツ少年団の指示に従ってください。

<注意事項>

- ・指定のレポート様式を使用し、作成してください。用紙が足りない場合は、コピーして使用してください。
- ・申込者本人が、自筆にてボールペン等を使用して作成してください（鉛筆、シャープペンシル、消せるボールペン等消しゴムで消えるものは不可）。
- ・丁寧な字で作成してください。
- ・下記の場合は、応募課題の再提出、もしくは参加を認めないことがあります。
 - ①課題に沿った内容で作成していない場合
 - ②上記記載の注意事項が守られていない場合
 - ③提出期限が守られなかった場合

<今後のスケジュール>

- ・6月中旬から下旬に、参加決定者に対して日本スポーツ少年団から参加決定通知を送付します。なお、参加決定通知には、健康調査表・事前課題等を同封します。

※スケジュールの詳細については、別添「年間の流れ」をご参照ください。

◆平成 28 年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール応募課題

<様式 3>

都道府県		氏名		受付日	※日スタ記入
------	--	----	--	-----	--------

【応募課題①】 今まであなたがスポーツ少年団のリーダーとして活動してきた具体的な内容について、詳しく説明しなさい。また、そのリーダー活動続ける上で抱えている問題について述べなさい。

●リーダー活動の具体的な内容

* 自筆にて、記入欄のすべての行を埋めること

●抱えている問題

* 自筆にて、記入欄のすべての行を埋めること

【応募課題②】 シニア・リーダースクールへの参加志望動機について述べなさい。また、宿泊研修(スクーリング)に参加してどのような知識や技術を身に付けたいか、それを単位団やリーダー会活動において、どのような形で活かしていくのかを述べなさい。

●参加志望動機

* 自筆にて、記入欄のすべての行を埋めること

●身に付けたい知識や技術・単位団やリーダー会活動における活用方法

* 自筆にて、記入欄のすべての行を埋めること

平成 28 年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール開催要項

1. 趣 旨：

「日本スポーツ少年団リーダー制度」に基づき、下記の要領によりシニア・リーダースクールを開催する。本事業は、リーダーの資質の向上をはかるとともに、将来のスポーツ少年団指導者の育成を目的として実施する。

2. 主 催：公益財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団

3. 後 援：スポーツ庁（予定）

4. 期 間：

【事前研修】参加決定通知後、6月下旬頃から7月11日（月）までに1回・2種類の課題（指導案作成・運動適性テストに関するワークシート）を実施
【宿泊研修】平成28年8月4日（木）～8日（月）（4泊5日）
【通信研修】宿泊研修終了後、9月までに1回・2種類の課題（指導案作成・レポート）を実施

5. 会 場：国立中央青少年交流の家

〒412-0006 静岡県御殿場市中畑 2092-5

※会場への課題・荷物の送付および電話連絡は一切禁止する

6. 参加条件：

下記（1）～（4）の条件すべてに該当し、かつ各都道府県スポーツ少年団本部長の推薦する者

- （1）平成28年度登録を行い、義務教育を修了した20歳未満の者（平成28年4月1日現在）
- （2）ジュニア・リーダー資格を有する者又は日本スポーツ少年団リーダー制度に定める活動単位により参加資格を認められた者
- （3）全課程に参加できる健康状態および体力・運動能力を有する者（体力的には少なくとも運動適性テスト3級以上の能力を有する者が望ましい）
- （4）集団生活における規律を守ることができる者

7. 定 員：140名

各都道府県スポーツ少年団の割当数は別紙一覧による。なお、各都道府県スポーツ少年団から割当数を超える推薦を受け付ける。割当数を超える推薦については推薦順位を決定の上、推薦すること。また、全国からの推薦数が定員を超えた場合、前年度の高校生以上の登録団員数に基づき、参加者数の追加割当（別紙参照）を決定する。

8. 研修内容・実施方法：

（1）研修内容

日本スポーツ少年団リーダー制度に定められた養成内容に基づき研修を実施する。

- | | |
|--------------|-----------|
| ①講義 | ②グループワーク |
| ③運動適性テスト | ④スポーツ指導実践 |
| ⑤テーマディスカッション | ⑥実習 |
| ⑦自主活動 | ⑧その他 |

（2）実施方法

上記内容を含む40時間以上のコース（宿泊研修）と事前課題（1回・2種類）、通信研修（1回・2種類）を実施する。

9. 経 費：

（1）参加料：1名 16,200円（税込）

日本スポーツ少年団からの参加者決定通知受理後、16,200円（税込）×人数分を都道府県スポーツ少年団が取りまとめの上、一括して下記口座へ納入すること。

振込先	みずほ銀行 渋谷支店
	普通預金 No. 3427831
	口座名：公益財団法人日本体育協会

- (2) 交通費については別に定める基準に基づき補助をする。
なお、支給方法は所属都道府県スポーツ少年団の指定口座への振込とする。
- (3) 宿泊研修に伴う宿泊費（食事代を含む）および必要な教材は、日本スポーツ少年団が負担又は用意する。
10. 参加申込：
都道府県スポーツ少年団は推薦者および提出書類を取りまとめ、以下のとおり申し込むこと。
- (1) 申込先 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
公益財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団
- (2) 申込期限 平成28年6月3日(金)
- (3) 提出書類 次の①～③を都道府県スポーツ少年団がとりまとめ、提出すること。
・①参加申込書（推薦書）＜別添様式1＞【都道府県スポーツ少年団作成】
・②参加申込書（個人提出用）＜別添様式2＞【被推薦者作成】
・③応募課題 ＜別添様式3＞【被推薦者作成】
11. 評価・認定：
全課程修了者は日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、シニア・リーダーとして認定を行う。なお、修了の評価は、宿泊研修中の活動と通信研修のそれぞれを対象に、日本スポーツ少年団リーダー養成ワーキンググループにおいて行い、日本スポーツ少年団指導育成部会にて認定の可否を判断する。
12. 傷害保険：
宿泊研修中は、公益財団法人日本体育協会が参加者全員を被保険者として傷害保険に加入する。
13. その他：
(1) 宿泊研修会場での8月3日（水）の宿泊申込みについては、都道府県スポーツ少年団で取りまとめ、一括して日本スポーツ少年団に申し込むこと。
- (2) 参加者は、宿泊研修参加にあたり、定められた時間内に受付を完了すること。また、最終日は閉校式終了後、12時30分過ぎの解散となる。
解散前に会場を離れなければならない電車・飛行機等を手配しないこと。
- (3) 参加者は全課程において受講免除等は認めない。宿泊研修においても、早退・遅刻の他、自由行動は一切認めない。
- (4) 宿泊研修の日程等詳細については、追って日本スポーツ少年団より参加者に連絡する。
- (5) 宿泊研修中、参加者の事情（体調不良等）によりプログラムに参加できなくなった場合、医師の判断等に基づき、主任講師、事務局で協議を行い、参加者を帰宅させることがある。その場合、評価・認定に関しては上記記載の要項11に基づく。また、参加料の返金を行わない。
- (6) 参加申込にあたって収集した個人情報は参加可否の通知・関連資料の送付・参加者名簿作成を目的に使用させていただきます。また、事業中に撮影した写真等については、公益財団法人日本体育協会のホームページや各種報告書において利用することがあります。なお、この個人情報は、参加者の同意なしに、第三者に開示・提供することはありません（法令などにより開示を求められた場合を除く）。

～スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン～

暴力0（ゼロ） 心でつなぐスポーツの絆

平成28年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール参加申込書
(個人提出用)

都道府県	都・道・府・県			写真貼付 上半身正面脱帽 縦4cm×横3cm ※裏面に氏名明記のこと
(フリガナ)氏名	()	性別	男・女	
生年月日	西暦 年 月 日生 2016年4月1日現在 満 歳			
現住所	※ 通知文書は下記住所に発送します。 〒 - (電話番号 - -) (携帯番号 - -)			
学校・勤務先 ※平成28年度	・ () 第 () 学年 在学中・卒業 ・ () に勤務中 ・ 学校部活動への加入状況 加入している場合 () 部・加入していない			
所属単位団	・ () 市・区・町・村 () スポーツ少年団 ・ 主な活動種目 () () ()			
活動歴	・ 平成 () 年 () 月スポーツ少年団入団 団活動 () 年目 ・ 平成 () 年度ジュニア・リーダースクール修了 / 認定番号 (J) ※ ジュニア・リーダー資格を保有していない場合は、必ず記入すること(10単位以上必要)			
	参加年度	参加事業名・役割	単位数	合計単位数
				単位
	・ リーダー会での活動状況 ※活動している場合のみ記入すること 所属先 () 市・区・町・村リーダー会 (活動年数 年目 役職) 所属先 () 都・道・府・県リーダー会 (活動年数 年目 役職) ・ 日独同時交流派遣の参加経験 有・無 →【有の場合】平成 () 年度参加			
運動適性テスト	() 級・参考 【新体力テスト総合評価 () ※A～E評価】 ※3級以上を有する者が望ましい			
スポーツ趣味	好きなスポーツ () 趣味 ()			
留意事項	※ 何か主催者側に知っておいてもらいたいことがあればご記入ください。(健康状態、アレルギー、運動時に特別な配慮が必要等)			
指導者推薦欄	※ 必ず所属単位団の指導者にあなたの推薦コメントを記入してもらうこと (指導者名 所属)			

※参加申込にあたって収集した個人情報は参加可否の通知・関連資料の送付・参加者名簿作成を目的に使用させていただきます。また、事業中に撮影した写真等については、公益財団法人日本体育協会のホームページや各種報告書において利用することがあります。なお、この個人情報は、参加者の同意なしに、第三者に開示・提供することはありません(法令などにより開示を求められた場合を除く)。

平成28年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール 宿泊研修(スクーリング)日程表

8/4 (木)	8/5 (金)	8/6 (土)	8/7 (日)	8/8 (月)	
6:00					
	起床・清掃(宿泊棟) 6:30	起床・清掃(宿泊棟)	起床・清掃(宿泊棟)	起床・清掃(宿泊棟)	6:30
7:00	清掃(20分)・係別MTG(10分)	清掃(20分)・係別MTG(10分)	清掃(20分)・係別MTG(10分)	清掃(20分)・係別MTG(10分)	7:00
7:20	朝のつどい 7:00～7:20 朝食 7:20～8:30	朝のつどい 7:00～7:20 朝食 7:20～8:30	朝のつどい 7:00～7:20 朝食 7:20～8:30	朝のつどい 7:00～7:20 朝食 7:20～8:30	7:20
8:30					
	講義④ 8:30～9:50 (80分)※10分休憩 「少年期の発育発達」	班別活動③ 8:30～9:40 (70分) 「テーマディスカッション」	スポーツ指導実践④ 8:30～13:00 「スポーツ指導実践」(270分)	退点検 8:45～9:00 ※移動30分 班別活動⑥ 9:30～11:10 ※移動5分 「班別活動の総括」(100分)	8:45 9:30
10:00	講義⑤ 10:00～10:50 (50分)※10分休憩 「活動時の安全管理」	スポーツ指導実践② 9:40～10:40 「指導案作成②」(60分)			
10:30	受付				
11:00					
11:30	施設オリエンテーション 11:00～11:30 昼食 11:30～12:00 (30分)	スポーツ指導実践③ 10:40～12:00 「指導実践ハート」(80分)			
12:00		昼食 12:00～13:00 (60分)		全体会 (30分)	11:15 11:45
12:20	開会式・オリエンテーション 12:20～13:00 講義① 13:00～13:50 (50分)※10分休憩 「スポーツ少年団の理念とスポーツリーダー」		昼食 13:00～14:30 (90分)	閉校式 (45分) バス出発 (青少年交流の家発～御殿場駅行)	12:30
13:00		講義⑦ 13:00～14:00 (60分) 「運動適性テスト」	スポーツ指導実践③ 13:00～15:10 「指導実践ハート」(130分)		
13:30	「団の組織とリーダー・指導者の役割」				
14:00	講義② 14:00～14:50 (50分) 「グループワーク」	実習② 14:00～15:50 (110分)※移動10分 「運動適性テスト」(体育館)			
14:30				スポーツ指導実践⑤ 14:30～16:30 「スポーツ指導実践の振り返り・評価」(120分)	
15:00	実習① 14:50～17:20 (150分) 「グループワークトレーニング」				
15:30					
16:00					
16:30					
17:00					
17:20					
	係別活動 17:20～18:20 (60分)※移動10分 「役割・業務確認」	班別活動② 16:00～17:00 (60分) 「テーマディスカッション」「面接」	タベのつどい 17:00～17:20	班別活動⑤ 16:30～17:00 (30分) タベのつどい 17:00～17:20	
18:20		スポーツ指導実践① 17:20～18:30 「指導案作成①」「面接」(70分)	班別活動④ 17:20～18:20 ※移動10分 「テーマディスカッション」(60分)	班別活動⑤ 17:20～18:20 ※移動10分 「テーマディスカッション」(60分)	
	夕食 ブロック別 18:30～19:30 (60分)	夕食 18:30～19:30 (60分)	夕食 18:30～19:30 (60分)	夕食 18:30～19:30 (60分)	
19:30					
	講義③「国際交流」19:30～20:00 (30分) 班別活動①「テーマディスカッション」「面接」 20:00～21:00 (60分)	実習③班別レクリエーション活動 19:30～21:00 (90分) (体育館)	自主活動① 19:30～21:30 (120分)	自主活動② 19:30～21:30 (120分)	
21:00					
21:30	入浴準備	入浴準備			
	入浴 21:30～22:30 (60分)	入浴 21:30～22:30 (60分)	入浴 21:30～22:30 (60分)	入浴 21:30～22:30 (60分)	
22:30					
	就寝準備 消灯	就寝準備 消灯	就寝準備 消灯	就寝準備 消灯	
23:00					

平成28年度日本スポーツ少年団 シニア・リーダースクール 年間の流れ

日程		行事	参加者提出物
平成28年	3月下旬～4月上旬	シニア・リーダースクール開催通知	
	6月3日(金)※	参加者推薦締切 ※提出期限は都道府県スポーツ少年団の指示に従うこと	＜様式2＞参加申込書(個人提出用) ＜様式3＞応募課題
	6月中旬～下旬	参加決定通知の送付 (事前課題の開示)	
	7月11日(月)消印有効	【事前研修】 事前課題等 提出	＜様式4＞事前課題①(指導案) ＜様式5＞事前課題②(運動適性テスト) ＜様式6＞健康調査表
	8月4日(木)～8日(月)	【宿泊研修】 静岡県／国立中央青少年交流の家	
	9月9日(金)消印有効	【通信研修】 通信研修課題 提出	＜様式7＞通信研修課題①(指導案) ＜様式8＞通信研修課題②(レポート)
	9月中旬	第2回リーダー養成ワーキンググループ	
	11月		
	12月上旬～中旬	第3回リーダー養成ワーキンググループ (第1回成績判定会議:フォローアップ研修者決定)	
平成29年	1月	フォローアップ研修課題(該当者のみ) 提出※	フォローアップ研修課題(該当者のみ)
	2月	第4回リーダー養成ワーキンググループ (第2回成績判定会議:認定承認)	
		第4回指導育成部会 (シニア・リーダー認定について諮る)	
	3月	第4回常任委員会 (シニア・リーダー資格認定者を報告) シニア・リーダー認定通知 (認定証・認定品・評価表発送、通信研修課題等返却)	

提出物		提出先	提示方法
＜様式1＞	参加申込書(推薦書)	都道府県スポーツ少年団が記入・提出	都道府県スポーツ少年団に送付
＜様式2＞	参加申込書(個人提出用)	都道府県スポーツ少年団	参加申込書類に同封
＜様式3＞	応募課題	※都道府県スポーツ少年団が取りまとめ、日本スポーツ少年団へ提出	
＜様式4＞	事前課題①(指導案)	原本: 日本スポーツ少年団 コピー: 都道府県スポーツ少年団	参加決定通知に同封
＜様式5＞	事前課題②(運動適性テスト)		
＜様式6＞	健康調査表		
＜様式7＞	通信研修課題①(指導案)		宿泊研修時に配布(参加者ノート参照)
＜様式8＞	通信研修課題②(レポート)		

※フォローアップ研修課題は、該当者に対して日本スポーツ少年団から別途通知(12月中旬)

<様式1>

平成28年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール参加申込書（推薦書）

推薦 順位	フリガナ 氏 名	性別	年齢	シニア・リーダー認定番号	活動単位 ※
1	()			07 J	
2				07 J	
3				07 J	
4				07 J	
5				07 J	

※ 活動単位については、10単位以上が必要です。
該当者のみ記入してください。

男()名・女()名 計()名

上記の者を平成28年度シニア・リーダースクール参加者として推薦し、申し込みいたします。

公益財団法人福島県体育協会
福島県スポーツ少年団
本部長 星 本文 様

平成 年 月 日
_____スポーツ少年団
本部長 _____ 印

3. スポーツ少年団リーダーの資格認定

(1) ジュニア・リーダー

ジュニア・リーダースクールを修了した団員に対しては、都道府県スポーツ少年団が日本スポーツ少年団の名において「日本スポーツ少年団ジュニア・リーダー」として認定し、認定証と認定品を交付する。

(2) シニア・リーダー

シニア・リーダースクールを修了した団員に対しては、日本スポーツ少年団が「日本スポーツ少年団シニア・リーダー」として認定し、認定証と認定品を交付する。

4. 認定の期間

(1) ジュニア・リーダー

認定を受けた者が引き続き登録を行っている限り有効とする。

(2) シニア・リーダー

認定を受けた者が引き続き登録を行っている限り有効とする。ただし、日本スポーツ少年団指導者制度に定める要件を満たした場合、「スポーツ少年団認定員」へ資格移行する。

5. 認定資格の停止および取消し

(1) ジュニア・リーダー、シニア・リーダーに公益財団法人日本体育協会倫理規程第4条に違反する行為が明らかとなり、別に定める基準に基づく「活動停止」処分となったときは、同一期間、資格を停止する。

(2) ジュニア・リーダー、シニア・リーダーが次の各項に該当するとき、その資格を取り消す。

① スポーツ少年団登録を行わなかったとき。

② 公益財団法人日本体育協会倫理規程第4条に違反する行為が明らかとなり、別に定める基準に基づく「登録取消し」処分となったとき。

6. 制度の変更

本制度は、日本スポーツ少年団常任委員会の承認を得て変更することができる。

<附則>

昭和53年2月28日制定

昭和59年1月26日改定

平成2年4月1日改定

平成7年4月1日改定

平成18年4月1日改定

平成22年4月1日改定

平成22年4月14日改定

平成27年11月9日改定

日本スポーツ少年団リーダー制度

スポーツ少年団における青少年リーダーを組織的に整備することとあわせ、団における位置づけを明らかにし、日常の活動を通じ個々の資質と技能の向上をはかり、将来のスポーツ少年団指導者に育成することを目的に「日本スポーツ少年団リーダー制度」を定める。

1. スポーツ少年団リーダーの規定

日本スポーツ少年団にジュニア・リーダーとシニア・リーダーをおく。ジュニア・リーダーは、単位団において団員の模範となって活動する団員をいう。シニア・リーダーは、単位団およびリーダー会において模範となって活動する団員をいう。

2. スポーツ少年団リーダーの養成

日本スポーツ少年団では、リーダーの資質の向上をはかるため次のリーダースクールを設け、資格の認定を行う。

(1) ジュニア・リーダースクール

日本スポーツ少年団と都道府県スポーツ少年団が共催で開設する。

対象：次のいずれの条件も満たす者とする。

- ①日本スポーツ少年団登録団員で、小学校5年生以上中学生までの者。
- ②所属市区町村スポーツ少年団本部長の推薦を受けた者。

内容：次の内容を含む20時間以上のコースを設定する。

- ①スポーツ少年団とは ②スポーツ少年団のリーダーとは
- ③活動プログラムの実践（スポーツ活動、交歓交流活動、集団生活・集団行動等） ④話し合い

(2) シニア・リーダースクール

日本スポーツ少年団が開設する。

対象：次のいずれの条件も満たす者とする。

- ①日本スポーツ少年団登録団員で義務教育を終了した20歳未満の者。
- ②「ジュニア・リーダー」の認定資格を有する者又はスポーツ少年団活動により、別に定める活動単位を取得し、シニア・リーダースクールの参加資格を認められた者。

内容：次の内容を含む40時間以上のコースを設定する。

- ①スポーツ少年団とは（意義と原則／組織と活動） ②リーダーとは
- ③少年期の発育発達 ④スポーツの指導 ⑤安全管理 ⑥体力テスト
- ⑦グループワーク ⑧スポーツ少年団員のための運動プログラム
- ⑨交歓交流活動の実践 ⑩研究協議

日本スポーツ少年団リーダー制度 2 項(2)に定める活動単位

日本スポーツ少年団リーダー制度 2 項(2)に記載の活動単位について、以下のように定める。

1. 活動単位数

(1) 全国スポーツ少年大会参加	5 単位
(2) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会参加	5 単位
(3) ブロックスポーツ少年大会参加	5 単位
(4) ブロックリーダー研究大会参加	5 単位
(5) スポーツ少年大会（全国・ブロック・都道府県）および、 競技別交流大会（全国・ブロック・都道府県）への運営係員としての参加	5 単位
(6) 市区町村リーダー会役員経験年数 1 年以上	5 単位
(7) 都道府県リーダー会役員経験年数 1 年以上	10 単位
(8) ジュニア・リーダースクールへの運営係員としての参加	10 単位
(9) 日独スポーツ少年団同時交流（派遣）へ団員として参加	10 単位

2. 単位取得条件

- (1) 当該事業終了時に単位を取得するものとする。
- (2) 同一項目であっても複数年度に渡り該当する場合は、それぞれの年度ごとに活動単位を認める。

3. 必要単位数

上記活動単位の内、10 単位以上取得した者に対し、シニア・リーダースクール参加資格を認める。

平成 22 年 4 月 1 日発行